

第3学年 国 語

1 学習の進め方

- (1) 毎週漢字テストを行い、漢字の学習に取り組みます。
- (2) 教科書に準拠して授業を進めます。
- (3) 話をしっかり聴いて、工夫しながらノートをとりましょう。
- (4) わからないことは積極的に質問して理解に努めましょう。
- (5) 話し合いや相談の時間を生かして、自分の考えを広げたり深めたりしましょう。
- (6) 硬筆書写教材やプリントなどを使って言語に関わる力を養いましょう。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 授業に必要なものを忘れないようにしましょう。
…教科書、ノート（B5）、「例文漢字」、国語便覧、プリントファイル、ファイル
書写では鉛筆、習字道具など
- (2) 字は楷書を使って、濃く、大きく、ていねいに書く習慣を身につけましょう。
- (3) 提出物は期限を守りましょう。
- (4) 自分から積極的に学習や課題に取り組みましょう。
- (5) 発言は大きな声ではっきりとクラスみんなに伝えましょう。
- (6) 教室は失敗をする場所です。失敗や間違いを臆せず自分の考えを発表しましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 日頃から読書や新聞等を通して活字に親しむ習慣をつけましょう。
- (2) 漢字の知識や文法についてはしっかり復習して知識の定着を図りましょう。
- (3) ノートやプリントに記入したことと、教科書や国語便覧の該当箇所とを照らし合わせながら、復習に努めましょう。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 教科書、ノート、授業プリントをしっかりと読み直したり、見返したりしましょう。
- (2) 暗記をする部分は暗記をし、理解する部分については、内容を何度も見返し、十分に理解できている状態までもっていきましょう。
- (3) 漢字は正しく書けるように繰り返し練習しましょう。
- (4) わからないことがあったら、先生や友達に質問して理解できるようにしましょう。
- (5) 本文を繰り返し声に出して読み、理解を深めましょう。
- (6) 漢字、文法、言語に関わる内容は繰り返し復習に努めましょう。

5 3年生での学習内容…授業時間は、週3時間 年間105時間

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	1 深まる学びへ	10月	5 自らの考えを
5月	2 視野を広げて	11月	6 いにしへの心を受け継ぐ
6月	情報社会を生きる 3 言葉とともに	12月	読書に親しむ
7月	読書生活を豊かに	1月	7 価値を生み出す
8月		2月	8 未来へ向かって
9月	4 状況の中で	3月	8 未来へ向かって

※上記以外に書写の授業があります。

6 評価・評定について

評価とは、国語で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 知識・技能

・我が国の伝統的な言語文化に親しみ、言葉の特徴や使い方、漢字、情報の使い方などについて理解し正しく用いる。また文字を正しく整えて速く書く。

(定期考査、漢字テスト、書写等)

観点2 思考・判断・表現

A「話すこと・聞くこと」…相手や場面に応じ、適切に話すこと、表現の工夫を評価して聞くこと、問題解決に向けて話し合うことで、自身の考えを深める。

(発表、スピーチ等)

B「書くこと」…目的や意図に応じ、論理の展開を工夫して書き、また文章を書くことで自身の考えを深める。

(定期考査、課題作文等)

C「読むこと」…目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方を評価しながら読み、読書を通して自己の向上を目指す。

(定期考査等)

観点3…主体的に学習に取り組む態度

・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め国語を尊重する。

(定期考査、提出物の提出状況・内容等)

7 備考(注意事項・アドバイスなど) なし

第3学年 社会科

1 学習の進め方

- (1) 3年生では歴史と公民を学習する
- (2) 教科書に準拠して授業を展開する
- (3) 単元によってグループで話し合いや意見を交換する時間を設ける
- (4) 状況に応じて小テストを実施する

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 授業では各自でノートを準備する。今まで使用したものを継続して使用してください。
歴史・公民それぞれノートは分けてください。歴史は今まで使用していたもの。
公民はA3版のノートを使用してください。
- (2) ノートには板書したこと及び、説明の中で必要と思われることをメモしてください
- (3) 話し合い活動には積極的に参加しましょう

3 家庭学習の進め方

- (1) 授業内で書いたノートと教科書を照らし合わせて復習し、ワークの問題で確認する。
- (2) 予習をする場合は、教科書をよく読んでおく
- (3) テレビや新聞、インターネットなどでニュースを見ておきましょう
- (4) クロームブックの活用について
 - ・調べ学習で検索ツールを使っての活用
 - ・オンライン学習教材「eboard」を活用しての予習・復習

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) ノートと教科書を照らし合わせ振り返りましょう。ワークなどで問題をたくさん解きましょう。
- (2) 用語や地名などを暗記するだけでなく、それぞれの単元について説明できるように、理解していくことを心がけましょう。
- (3) 学習したことを誰かに説明できることを目標にしてください。

5 3年生での学習内容（授業時間は、週4時間、年間140時間）

月	学習内容	月	学習内容
4月	歴史 明治時代～第一次世界大戦 公民 現代社会	10月	公民 国会・内閣・裁判所 日本国憲法
5月	歴史 世界恐慌～第二次世界大戦 公民 生活と文化	11月	公民 地方自治 市場経済
6月	歴史 戦後～高度経済成長 公民 現代社会を捉える枠組み	12月	公民 消費者経済、企業活動
7月	歴史 これからの日本と世界 公民 日本国憲法	1月	公民 これからの日本経済 財政
8月	夏休み	2月	公民 国際社会
9月	公民 2章 民主政治 日本国憲法	3月	問題演習、3年間のまとめ

6 評価・評定について

評価とは社会科で身に付けてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 社会的事象への知識・技能

日本の国土と歴史、社会の仕組みに関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。

（評価材料）定期考査、小テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

観点2 社会的な思考・判断・表現

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、地理や歴史に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。

（評価材料）定期考査、小テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

観点3 主体的に学習に取り組む態度

授業やグループワーク、調べ学習などに積極的に取り組み、よりよい社会の実現のために課題を主体的に解決しようとしている。学んだことをいかし、活用できている。

（評価材料）授業内での発言、グループでの話し合い活動に積極的に参加しているか
ノート・ワーク等の提出物、その他状況に応じて課される提出課題など

第3学年 数 学

数学の授業は、週4時間です。年間を通して少人数の授業を行います。

1 学習の進め方

1時間の中でできるだけ多くの問題を扱うようにする。

- (1) 講 義・・・教科書の内容を整理し、問題を解きながら理解する。
途中の過程を確実に書くようにする。
- (2) 問題 演習・・・教科書の問や黒板に書いた問題を解く。
- (3) ワーク学習・・・授業の進み具合に応じて、進める。
- (4) 宿 題・・・ワークは授業の進み具合に応じて宿題とする。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) ノートを取る。考えるところはしっかりと考えることが大切。
- (2) 解らないことはそのままにせず、解るまで質問する。
- (3) 途中式を必ず書く。
- (4) 間違いを直すときは、その理由を大切に。必ずやり直す。

3 家庭学習の進め方

- (1) ワークは授業の進度に合わせて進める。授業の進み具合に応じて宿題とする。
毎日の復習として取り組む。
- (2) ワークなどの課題は丁寧に取り組む。間違えたときは、もう一度取り組み、間違いを見つけ、直す。解らないときは答えを見て考えてよい。答えだけを書くのではなく、途中の計算過程を書く。

※ワークの進め方※

- ① 自分で解く。答え合わせをする。
- ② 間違えた問題は、どこを間違えたか確認する。
- ③ 解らないときは解答を見ながら考える。
- ④ 解らない問題は先生に聞く。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 試験範囲の問題をやり直す。
- (2) ノートで語句の意味やポイントを確認する。
- (3) 時間があれば、さらにいろいろな問題を解くことにチャレンジする。

5 3年生での学習内容 (授業時間は、週4時間 年間140時間)

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	第1章 多項式	10月	第5章 相似な図形
5月	第1章 多項式 第2章 平方根	11月	第6章 円 第7章 三平方の定理
6月	第2章 平方根	12月	第8章 標本調査
7月	第3章 2次方程式	1月	3年間のまとめ 演習問題
8月	夏休みのため 授業なし	2月	3年間のまとめ 演習問題
9月	第3章 2次方程式 第4章 関数 $y = ax^2$	3月	3年間のまとめ 演習問題

6 評価・評定について

(1) 観点別評価は、下記の項目・割合で算出し達成度によりABCで評価します。

観 点	観点1 知識・技能	観点2 思考・判断・表現	観点3 主体的に学習に取り組む態度
内 容	計算やグラフを書くなど、 数学的に処理することができるか。	先を読む力、根拠を説明する 力など身に着けているか。	数学的活動の楽しさや数学の 良さを実感し、活用としているか。
評 価 材 料	☆定期考査 ☆小テスト等	☆定期考査 ☆小テスト等 ☆レポート	☆自己評価表 ☆ノート ☆ファイル(計算プリント) ☆ワーク ☆提出物 ☆テスト振り返り ☆再小テスト

(2) 評価は観点を算出し、達成値により評定を算出します。

7 その他

(1)長期休業中等に状況の応じて補充教室を行います。

第3学年 理 科

1 学習内容

- 【単元1】「化学変化とイオン」（化学分野）
- 【単元2】「生命の連続性」（生物分野）
- 【単元3】「運動とエネルギー」（物理分野）
- 【単元4】「地球と宇宙」（地学分野）
- 【単元5】「地球と私たちの未来のために」

2 持ち物について

- (1) 教科書、ノート（理科A）、資料集（理科便覧）はいつも用意してください。（3点セット）
- (2) ワークは、指示をしたときに用意をしてください。ワークの答えは、1回目は学習ノートに記入をし、2回目以降は、ワークの本体に記入してください。提出する場合は、学習ノートを提出してください。
- (3) 筆箱の中に、いつもののりと定規を準備しておいてください。

今年度は教材はすべてロッカーに置いておいてOKで

3 授業では…

- (1) 理科Aの授業で配られる㊦プリントは、基本的に「すべてノートに貼る」です。貼り方などは、授業で指示をします。
- (2) 実験室を使用するときは、使用上の注意にしてください。また、実験・観察ごとに薬品や実験器具・装置の使い方などの注意があるので、しっかりと確認をしていきましょう。
- (3) わからないことはそのままにせず、積極的に質問をしましょう。
(授業中に質問できないときは、授業後や昼休み、放課後を利用する。)

4 家庭学習の進め方

- (1) 理科では、教科書の予習をする必要はありませんが、実験の前などは、実験の方法などを読んできてもらうときもあります。
- (2) 授業の復習が大事です。教科書をよく読み返し、ノートやプリントを見直したり、ワークで問題を解く練習などをしたりしましょう。
- (3) 自分で調べてもわからないことは、そのままにせず、積極的に質問してください。
- (4) 小テストの振り返りや定期テストのやり直しを行いましょう。
- (5) 今年度は、ワーク「よくわかる理科の学習」のほかに、問題集「3年間の理科 ぎゅぎゅつと総まとめ」があります。こちらは家での学習に利用します。
(テスト範囲に入れます)

5 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 教科書、理科便覧、ノート、プリントをよく見直しましょう。
- (2) 実験・観察の手順や、注意点、なぜそのような操作を行うか、何がわかるのか等をよく理解

し、ノートにまとめましょう。

(3) ワークは1回目を学習ノートに、2回目以降をワーク本体で行いましょう。

(4) 重要な用語は、覚えるだけでなく、説明できるようにすることで理解が深まります。

(5) 計算や作図、グラフの問題は、繰り返し何度も行うことが大切です。

6 授業の進め方

4月 ～6月	化学変化とイオン	地球と宇宙
7月 ～10月	生命の連続性	
11月 ～1月	運動とエネルギー	
2月 ～3月	地球と私たちの未来のために	

7 評価について

「主体的に学習に取り組む態度」「思考・判断・表現」「知識・技能」

3つの観点別でA・B・Cの三段階で評価します。

A…80%以上達成

B…50%以上～80%未満

C…50%未満

その後、これらの観点から5段階で評定をつけます

5…達成度90%以上

4…達成度80%以上～90%未満

3…達成度50%以上～80%未満

2…達成度20%以上～50%未満

1…達成度20%未満

●知識・技能

- ・ 基本的な科学的な概念や法則を理解しているか。
- ・ 実験器具を正しく、安全に使うことができるか
- ・ 実験や観察の結果などの情報を丁寧に記録、整理し、活用することができるか。

～評価材料～①実験プリント、レポート課題

②定期テスト、小テスト

③授業ノート・プリント

④実技テスト

●思考・判断・表現

- ・ 実験や観察した結果を自ら分析し、わかりやすく表現することができるか。

～評価材料～①実験プリント、レポート課題

②定期テスト、小テスト

●主体的に学習に取り組む態度

- ・ 自ら学習に粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしているか。

～評価材料～①授業態度や実験の取り組みのようす

②授業ノート・プリント

③実験プリント、レポート課題

④提出物

第3学年 音楽

1 学習の進め方

- (1) 前時の振り返り・本時の予定の確認
- (2) 発声練習、校歌
- (3) 合唱練習（パート、全体）
- (4) プリント学習
- (5) 本時の振り返り・次回の予定

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 苦手なことにも前向きに一生懸命取り組みましょう。
- (2) 周りに遠慮せず、豊かに自己表現をしましょう。
- (3) 楽譜にしっかりメモをしましょう。
- (4) プリントの内容やわからないことをそのままにしないようにしましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 宿題や提出物は期日を守って取り組みましょう。
- (2) 実技テスト前は、家庭でも確認の練習をしましょう。
インターネットの動画や音源を利用して実技の練習をするのも良いと思います。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 基本的に授業で話したことを出題するため、授業内容をしっかり聞きましょう。
- (2) プリントにしっかり目を通しましょう。
- (3) わからないことはそのままにせず、質問しに来てください。

5 3年生での学習内容 (授業時間 週1時間 年間35時間)

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	歌唱：校歌（混声三部合唱） 課題曲「大地讃頌」	10月	歌唱：校歌 課題曲・自由曲 鑑賞：民族音楽
5月	歌唱：花 課題曲「大地讃頌」	11月	歌唱：実技テスト（課題曲） 鑑賞：能
6月	歌唱：花 鑑賞：ブルタバ（モルダウ）	12月	器楽：箏
7月	歌唱：実技テスト（花） 各クラスの自由曲	1月	歌唱：校歌、卒業式歌 鑑賞：ポピュラー音楽
8月	夏休みのため 授業なし	2月	歌唱：校歌、卒業式歌 鑑賞：ポピュラー音楽
9月	歌唱：校歌 課題曲・自由曲	3月	歌唱：校歌、卒業式歌

6 評価・評定について

評価とは、音楽で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 【知識・技能】

定期テスト

提出物（ワークシート）

実技テスト（発声、歌詞の発音の仕方、身体の使い方、声の響きなど）

観点2 【思考・判断・表現】

定期テスト

提出物（ワークシート）

実技テスト（強弱や表情などの表現、曲にふさわしい音楽表現）

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

授業への取り組み（発言、ワークシート、練習態度、実技テストの取り組みなど）

提出物（ワークシート、振り返りカード）

第3学年 美術

1 学習の進め方

- (1) 基本的技法を身に付ける
- (2) 参考作品や資料を基にアイデアを練る。
- (3) 制作の順序を考え見通しを持つ。
- (4) 材料や用具を生かし意図に応じて工夫して表す。
- (5) 他生徒の作品の良さ、自分の作品の良さに気づき尊重する。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 表現することを楽しんで活動する。
- (2) 表現したいイメージや主題を明確にする。
- (3) 授業準備をする。（材料、資料やアイデアに関するものを含む）
- (4) 授業時間の中で制作の時間配分を工夫する。

3 家庭学習の進め方

- (1) 発想するための情報を集める。
- (2) 学習内容に関連したものに関心を持つ。
- (3) 情報を発想や構想に生かして表現したり、鑑賞したりできる体験を積み重ねる。
- (4)

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 授業課題に関連した教科書、資料集、プリント内容の確認。
- (2) 基礎知識を実技に活用できるようにする。
- (3) テスト範囲に含まれる内容に関連した事に関心を持つ。
- (4) 授業の振り返りをする。

5 3年生での学習内容（授業時間は、週1時間 年間35時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	見つめ感じ取り描く：花のスケッチ 明暗の表現	10月	平面構成「心の不思議空間」 アイディアスケッチ
5月	スクラッチ：スクラッチ制作	11月	「心の不思議空間」制作
6月	スクラッチ制作：彩色 鑑賞：奈良京都の文化財	12月	「心の不思議空間」制作
7月	海を越えた文化交流 鑑賞：エッシャー「滝」	1月	堆朱のキーホルダー：制作
8月	夏休みのため 授業なし	2月	堆朱のキーホルダー制作
9月	鑑賞：レオナルドとその時代 透視図法	3月	メッセージを伝える絵手紙 鑑賞

6 評価・評定について

評価とは、美術で身につけてもらいたい5つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1

- ・ 期末テスト
- ・ 実技テスト
- ・ 作品

観点2

- ・ 期末テスト
- ・ ワークシート
- ・ アイディアスケッチ
- ・ 作品解説カード

観点3

- ・ 期末テスト
- ・ 作品制作過程、提出
- ・ 授業への取り組み（授業カード）
- ・ まとめワークシート

第3学年 保健体育

1 学習の進め方

- (1) ラジオ体操を行います。
- (2) 準備運動の後に主運動を行います。
- (3) 必要に応じて学習カードを活用します。
- (4) 必要に応じて映像の活用や示範を行います。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 体調が悪い場合はすぐに伝えてください。
- (2) 安全に留意して、真剣に取り組みましょう。
- (3) 教師の話をよく聴き、自ら考え、主体的に取り組みましょう。
- (4) わからないことはそのままにせず、聴くなどして解決しましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 自分に合った運動に取り組む。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 授業で学んだことを振り返りましょう。
- (2) 「図解中学体育」を活用しましょう。
- (3) 「新中学保健体育」を活用しましょう。
- (4) わからない時は積極的に聴きましょう。

5 3年生での学習内容（授業時間は、週3時間 年間105時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	陸上競技 体づくり運動	10月	陸上競技 高跳び ハードル 保健 ハンドボール
5月	陸上競技 体づくり運動	11月	長距離 保健 体育理論
6月	バレーボール 保健 ソフトボール	12月	マット運動 バスケットボール
7月	水泳	1月	サッカー 保健 バスケットボール
8月	夏休みのため 授業なし	2月	サッカー 保健 バドミントン
9月	水泳 ソフトボール：ハンドボール バレーボール	3月	バドミントン 保健 ダンス

6 評価・評定について

評価とは、保健体育で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 【運動や健康・安全についての知識・技能】

運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。また、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基礎的な技能を身に付けることができる。

（評価材料）*スキルテスト *個人記録 *日々のプレー *定期考査 *学習カード

観点2 【運動や健康・安全についての思考・判断・表現】

運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

（評価材料）*学習カード *授業中の動き及び発言 *定期考査

観点3 【運動や健康・安全について主体的に学習に取り組む態度】

運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとしている。また、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をしようとするとともに、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営もうとしている。

（評価材料）*授業態度 *学習カード

第三学年 技術家庭科（家庭分野）

1 学習の進め方

- ・家庭科の授業は、教室、被服室を使用します。
- ・毎時間、ワークシートを配布します。板書したり、先生の話聞いてメモをします。
- ・授業の終わりには、今日のまとめを記入したワークシートを提出します。
- ・実技実習では、裁縫道具が必要になります。

2 学習上の注意点

- ・チャイムと同時に挨拶ができるよう、準備や教室移動を行う。
- ・実技実習では、安全を第一に集中して取り組む。
- ・裁縫の実技があるので、玉どめ、玉結びができるように復習しておく。

3 家庭学習の進め方

- ・学習した内容を家庭で実践する。
- ・授業プリントを参考に、教科書を復習する。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- ・授業プリントを中心に、教科書を復習する。

5 3年生での学習内容

（授業時間は各週1時間 年間技術分野とあわせて35時間）

月	学習内容	月	学習内容
4月	幼児の生活と家族	1月	家族・家庭や地域との関わり
	① 幼い頃を振り返ろう	2月	① 家庭や家族の機能について考えよう
5月	② 幼児の体の発達について	3月	② 中学生としての自立を考えよう
	③ 幼児の心の発達について		③ 家庭生活と地域との関わりを考えよう
6月	④ 幼児の生活習慣の習得について		学習のまとめ
	⑤ 幼児の生活と遊びを知ろう		
7月			
9月	フェルトを使ったおもちゃの製作		
10月			
11月			
12月	これからの私と家族		
	① 中学生にとっての家族について考えよう		

6 評価・評定について

評価とは、家庭科の学習で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

★ 観点別評価と評価材料

観点1 【知識・技能】

- * 定期考査、縫い方の実技検査、プリント、その他状況に応じて課される提出課題。
- * 布を用いた製作における取り組み姿勢や完成品。

観点2 【思考・判断・表現】

- * 定期考査、ワークシート、教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題。

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

- * 授業への取り組み姿勢、よりよい生活の実現のために課題を主体的に解決している。
- * 授業ワークシート、その他状況に応じて課される提出課題。

第3学年 技術家庭科（技術分野）

1 学習の進め方

- (1) 前時の振り返り・本時の予定
- (2) 作業の説明・諸注意
- (3) 作業
- (4) 片付け
- (5) 本時の振り返り・次回の予定

2 学習（授業）上の注意点

- ・ 技術の授業は教室、木工室、金工室を使用します。
- ・ 授業でプリントを配布します。板書された用語などをプリントに書き込むだけでなく、先生の説明も書き込むようにしましょう。
- ・ 安全な実習にするため、先生の説明を聞くときは聞き、作業や活動に取り組むときは集中して取り組みましょう。
- ・ 授業の終わりに授業のまとめをします。各自、授業で学んだことを記入できるようにしましょう。プリントは毎回提出です。
- ・ プリントはファイルに綴じます。ファイルは毎学期の終わりごろ提出です。プリントが返却されたらすぐファイルに綴じる習慣をつけましょう。

3 家庭学習の進め方

- ・ 授業では必ずファイルが必要になるので忘れないようにしましょう。
- ・ 授業のプリントを復習しましょう。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- ・ 授業プリントを中心に、教科書を復習する。

5 3年生での学習内容（授業時間は隔週1時間 家庭科分野とあわせて年間35時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	【 A 材料と加工の技術 】 金属の特徴	10月	生物育成の仕組み 手入れ
5月	作品製作 部品加工	11月	生物の管理 手入れ
6月	ロウ付け	12月	収穫 まとめ
7月	仕上げ加工 やすり、研磨	1月	【 D 情報の技術 】 メディアの効果的な利用
8月	夏休みのため 授業なし	2月	安全・適切なプログラム 「情報の技術」まとめ
9月	【 B 生物育成の技術 】 ダイコンの袋栽培	3月	3年間の技術の振り返り <学習発表会>

6 評価・評定について

評価とは、技術で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

★ 観点別評価と評価材料

観点1 【知識・技能】

生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活と技術とのかかわりについて理解している。

* 期末考査 * 学年末考査 * 設計図 * 製図 * 製作品

観点2 【思考・判断・表現】

生活について見直し課題を見付けその解決を目指して自分なりに工夫し創造している。

* 授業プリントの記入内容 * 工夫された栽培観察記録

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

生活や指導について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。

* 授業プリントの記入内容 * 授業態度

7 備 考（注意事項・アドバイスなど）

- ・ 技術では危険な機械や道具を使用することが多いです。授業では怪我をしないよう安全に実習・作業を行っていかねばなりません。そのために集中して作業に取り組みましょう。
- ・ 技術室は、他学年の生徒も使用します。使用後の整理整頓を常に心がけ、次の生徒が気持ちよく使用できるよう心がけましょう。

第3学年 外国語（英語）

1. 授業の進め方

- (1) 授業のはじめに「帯活動（英語の歌、Q&A、ディクテーションなど、毎回短時間繰り返しおこなう学習）」を行います。
- (2) 授業は教科書、ワークシート、ワークを使用して、たくさんの活動（トレーニング）を行います。
- (3) 「英文を理解する」 → 「音読できる」 → 「書くことができる」という流れで学習します。今年度も「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」をバランス良く取り組みます。

2. 学習上の注意点

- (1) 間違いを恐れず、積極的に取り組んでいきましょう。
- (2) 間違いを恐れずに大きな声で音読活動や声を出す活動に取り組んでいきましょう。
- (3) 英語は「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」など、実際に自分が使うことが求められます。授業だけでなく、家庭学習にも力を入れていきましょう。（特に「読む」、「書く」を中心に）
- (4) わからなかったことは、その日のうちに確認し、そのままにしないようにしましょう。
- (5) 忘れ物をしないようにしましょう。
持ち物：教科書、ワーク、ノート、ファイル、辞書、タブレット

3. 家庭学習の進め方 * 復習に力を入れて取り組みましょう！ 反復練習が効果的です。

- (1) 教科書の本文を繰り返し音読練習しましょう。目標は「暗唱できるようになる（何も見ずにいうことができる）」です。教科書のQRコードやデジタル教科書を利用すると教科書の音声を聞くことができます。たくさん聞いて真似をしながら、ただ読むだけでなく発音やイントネーション等に気をつけて読めるようになりましょう。
- (2) 暗唱できるようになったら、ノートにその英文が書けるか、書いて練習してみましょう。書けなかった単語は繰り返し練習して書けるようにしましょう。
- (3) 英語を学習するときにはできる限り、日本語訳せずに、イメージやジェスチャーで覚えるようにすると、英語を使いやすくなります。挑戦していきましょう。
- (4) 様々な形で英語に触れ、英語への興味関心を高めましょう。教科書の文だけでなく、英語の歌や映画等もおすすめです。

4. テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 音読を中心に取り組んでいきましょう。授業で触れた教科書、ワークシート、ワークの英文は全て暗唱できるようにすることを目標に取り組みましょう。
- (2) 暗唱できるようになった英文をノート等を書いて練習すること等に取り組んでみましょう。またワーク等を活用して、授業の復習に力を入れ、書く力を高めていきましょう。

5. 3年生での学習内容とテスト（予定）（授業時間は、週4時間 年間140時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	Starter, Lesson1, Listen1, Talk1, [単元テスト], [音読テスト]	10月	Lesson6, Listen6, Talk6, Get plus2, [中間テスト], [Speaking test2]
5月	[中間テスト], Lesson2, Listen2, Talk2, [単元テスト]	11月	Lesson7, Listen7, Talk7, Get Plus3, [期末テスト], [単元テスト]
6月	Lesson3, Listen2, Talk3, Get Plus1, [単元テスト] [Speaking test1], [期末テスト]	12月	Reading for fun2, [単元テスト], [Speaking test3 (ALTとの英会話)]
7月	Lesson4, Listen4, Talk4, [単元テスト] [ト] Reading for fun1	1月	3年間の復習, [音読テスト]
8月	夏休みのため、授業なし	2月	3年間の復習, [Speaking test3 (Q&A)] [学年末テスト]
9月	Lesson5, Listen5, Talk5, [音読テスト], [単元テスト]	3月	3年間の復習

6. 評価・評定について

評価とは、英語で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 <知識・理解>

定期テスト、Speaking test、発表活動、単元テスト、ライティングテスト、リスニングテスト、音読テスト

観点2 <思考・判断・表現>

定期テスト、Speaking test、発表活動、単元テスト、ライティングテスト、リスニングテスト、音読テスト

観点3 <主体的に学習に取り組む態度>

定期テスト、Speaking test、発表活動、単元テスト、ライティングテスト、リスニングテスト、音読テスト、提出物

7. 備考

- ・定期テスト以外のテストやスピーチ等を欠席した場合、登校後、すぐに申し出てください。可能な限り実施していきます。
- ・提出物は期限を守って提出してください。欠席した場合、登校後、すぐに提出してください。
- ・授業中にタブレットを使う機会が増えてくると思います。使用目的を明確にして必要なこと以外には使用しないでください。使い方によっては学習に悪影響がでます。